学校番号	3001

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	造園技術実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	造園施工必携						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造園に関するより高度な技術や知識を身に付けるため、幅広く造園に関する課題に主体的に取り組んでいこう。
私たちの身の回りには安らぎの空間である庭園、公園、緑地等が欠かせません。これらの造園空間を創造し維持管理するためにはどのような技術が必要なのか、実習を通じて、実際の庭づくりに応用できる知識・技術を身につけよう。
造園技術の DX 化の学習の一環としてトータルステーションを用いた空間把握や地形測量などに応用できる測量先端技術に関する知識や技術を身につけよう。
学習形態は主に実習となります（雨天時は座学を行う）。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
高度な造園の知識と技術を習得させ、造園の特質を理解させるとともに、合理的に施工し、維持管理する能力と態度を育て、実際の庭づくりに応用できる職人を目指す。
【思考力、判断力、表現力等】
造園空間の創造や維持管理に必要な材料や施工法に関する基礎的な知識と技術を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
造園の特性や目的を踏まえて、合理的に施工や管理を行える技能と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造園や造園に関連する分野のの高度な知識及び技術を体系的・系統的に理解する。	造園に関する課題を発見し、造園業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を付けている。また、実際の庭づくりに応用することができる。	造園について目的や環境に応じた合理的な施工と維持管理につながるよう自ら学び、造園業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造園の特色と役割、造園植栽管理・測量	造園の特色 造園の役割 植栽管理 芝生管理 測量	a:造園に関する高度な知識をもって適切に対応する姿が見られる。造園に関する有用な情報を選択し活用している。 b:造園に関する高度な技術を身に付け、状況を判断して適切な管理を行える技能と態度が身に付いている。 c:造園について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
2学期	造園施工・測量	園路工 竹垣工 敷石工 測量	a:様々な造園施工に関する高度な知識・技術をもって適切に活用している。 b:様々な造園施工技術に関する高度な技術を身につけ、状況を判断して適切に技術を応用・活用できている。 c:造園施工について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
3学期	造園植栽工・測量	植栽工 花壇等の造成・管理 測量	a: 様々な造園植栽技術に関する高度な知識・技術をもって適切に対応する姿が見られる。 b:様々な造園植栽技術に関する高度な技術を身に付け、状況を判断して適切に応用活用できる。 c:造園植栽について興味・関心を持ち、諸問題を解決するような態度を身に付けている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 取り組みについてのレポート	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度